

## 岡山県知事賞

### 桃

美咲町立中央中学校

二年生

前原

梨

我が家の桃の出荷が第一弾を迎えています。我が家は、九種類の桃を植えています。有名な「清水白桃」や「あかつき」、珍しいものでは「西王母」という大変大きな桃もあります。

現在出荷しているのは、「大久保」と「あかつき」です。「大久保」とは、大正末期に岡山県の大久保重五郎さんが偶然発見し、昭和二年に命名された大変古い種類の桃です。形の良い綺麗な白桃で、私の好きな桃の一つです。でも、私が一番好きなのは「あかつき」です。

「あかつき」は、福島県が有名です。先日、岡山県農業大学校を卒業した方が、福島の実家から「あかつき」の接ぎ木を譲り受け、総社市で、今年初出荷したことが新聞で紹介されてい

ました。「あかつき」はとても甘く、またコクもあり、とても美味しい桃です。

六月上旬、私が自転車で学校から帰っていると、家の下の桃畑で祖母が、

「梨、今年はいっぱい桃の実がついているよ。色も綺麗で今年はきつと美味しいよ。」

と言っていたので、私は畑に自転車を止めて、桃畑に走っていききました。

桃の木を見てみると、たくさん袋がついていて、思わず私は、「すげえ、いっぱいあるがん。」

と、驚きを隠せませんでした。そして、私が、

「じいちゃん、この桃いつ頃食べれるん？」

と聞くと、

「梨の通知表がくるころじゃな。」

と、少し離れた桃の木の向こう側から声が聞こえました。

祖父と祖母は、毎朝五時過ぎから畑に出ています。桃畑は家の下と上の二か所で、桃の木は十一本あり、毎日手入れをしています。花が咲く前は、余分な枝を切り落としたり、木の根元の草をぬいたりして、花が咲くと先にボンボンがついた物で受

粉させたりしています。たくさん種類があり、たくさん花が咲いていたので、何日もかけてやっていました。その甲斐もあって、今年は約五千個ほど実を付けているそうです。

七月中旬の土曜日、部活から帰ると、台所のテーブルの上に桃がありました。

「じいちゃん、これうちの桃？」

と聞くと、

「そうじゃ、梨が食べたいようだったけん、最初の桃は、梨が食べえや。」

と言いました。ご飯を食べて、桃を剥いてもらい、一口食べるど、とても甘い桃の汁が口の中に広がりました。

「じいちゃん、めっちゃ甘いで。」

そう言うと、祖父が、

「ほんまかあ。じゃあもう出荷しても大丈夫じゃなあ。」

と言って、一緒に倉庫に行きました。すると、倉庫には桃がたくさん入ったカゴが五個もありました。

「今年の桃は、キズも無く綺麗な桃じゃわあ。」

と、祖父と祖母が話していました。父も倉庫にやってきて、

「綺麗な桃じゃなあ。これは『白桃』？」

と聞くと、祖母が、

「これは『大久保』っていう白桃で。『あかつき』はもうちょい先になるかなあ。でも『あかつき』も綺麗なで。」

と話していました。私は、祖父と一緒に桃の重さを測ったり、容器を出したり、出荷準備の手伝いをしました。

次の日、私は出荷について行きました。小学校の頃に何度か行って行ったことがあるけれど、中学生になってからは、部活があったりして行って行けておらず、久しぶりに行きました。野菜はたくさんお店に並んでいたけれど、桃は我が家のだけでした。祖母に、

「他の所は桃は出してないん？」

と尋ねると、

「これからは他の所も出すと思うよ。桃はこれからじゃけん。」  
と言い、出荷をして帰りました。

夕方になって、祖母が父と出荷の話をしていました。今年は数が多いから、物産センターだけでは売り切れないので、父が、「箱に入れて売ってみようか？知り合いにも声かけてみるわ。」  
と言って、スマホで知り合いにも声をかけていました。すると、

「四箱準備できる？」

と、一時間しないうちに注文が入りました。それから数日の間に、二十箱程注文がきたそうです。

父は、ネットでも売っていたらしく、七月二十九日には、鳥取県の三朝町からも買いに来られました。二十歳くらいの若い男の人で、

「果物が好きで、ネットを見ていたら綺麗な桃があったので申し込みました。」

と言っていたそうです。近所ではなく、遠くから買いに来てもらえてとても嬉しかったです。父に聞くと、大阪や香川、遠い所では仙台市まで送ったそうです。香川の人には食べた桃が、美味しくて、すぐに二箱追加注文があったそうです。我が家で採れた桃が、遠い所の知らない人が食べて美味しかったと言ってもらえると、とても嬉しいです。

これから、「清水白桃」やブドウの出荷が続くので、前原家の子どものような果物たちを、色々な人に食べてもらえるのが楽しみです。